



## 第21期企業ガバナンス部会 研究会のテーマ

テーマ1	研究の狙い	メンター
「稼ぐ力」を生み出す成長投資の実現に向けた取締役会のあり方等について	長年のデフレ経済の下でコストカット経営に慣れてきた経営陣に如何に「稼ぐ力」を生み出す未来志向の成長投資(含む人的資本投資、知財・無形資産投資)により企業価値向上と賃上げを促すかが官民共に問われている。本年4月経産省は「稼ぐ力を強化する取締役会の5原則と CG ガイダンス」を発表したが、実際の企業にあてはめた際に、取締役会では具体的に何をどの様に議論すべきか等を考察する。	柳澤 深井
テーマ2	研究の狙い	メンター
ファミリービジネスの社外役員になった場合の役割と留意点について	経産省は 2024 年を中堅企業元年として、本年 2 月より中堅企業成長ビジョンを公表し、その中でファミリーガバナンス規範の策定を掲げている。日本の企業の 99%上場企業でも約4割は、株式保有や役員を通じたファミリーによる支配企業であるとされる。所謂「サラリーマン企業」とのガバナンスの違いは何か。それに応じた社外役員のあり方について考察する。	加藤 斎藤
テーマ3	研究の狙い	メンター
中小企業の社外役員になるための実践講座(第4回)  未上場企業の社外役員として、IPO 後の成長や出口戦略を促すための心構えと提言について	日本の新興企業の中には、IPO 後の企業価値の成長が芳しくないもの多く見られる。IPO 狙いの新興企業に社外役員として就任する機会がある DF 会員が、実際にそうした企業に関わった場合、出口戦略を巡ってどのように経営者と会話すべきなのか、現役の企業経営者へのヒアリングなどを通じて上記の原因を探り、未上場企業の社外役員としての留意点や提言のあり方を考察する。	小谷 金子

以上